

Ⅶ. 市民協働によるまちづくりについて（問 14～問 16）

「市民協働によるまちづくり」とは、多様化する市民ニーズや社会的課題に対し、市民と市がそれぞれ役割分担の中で協力・連携してよりよいまち、住みやすいまちをつくっていくものです。行政とNPOによるもの、地域とNPOによるものなど、さまざまな形があります。

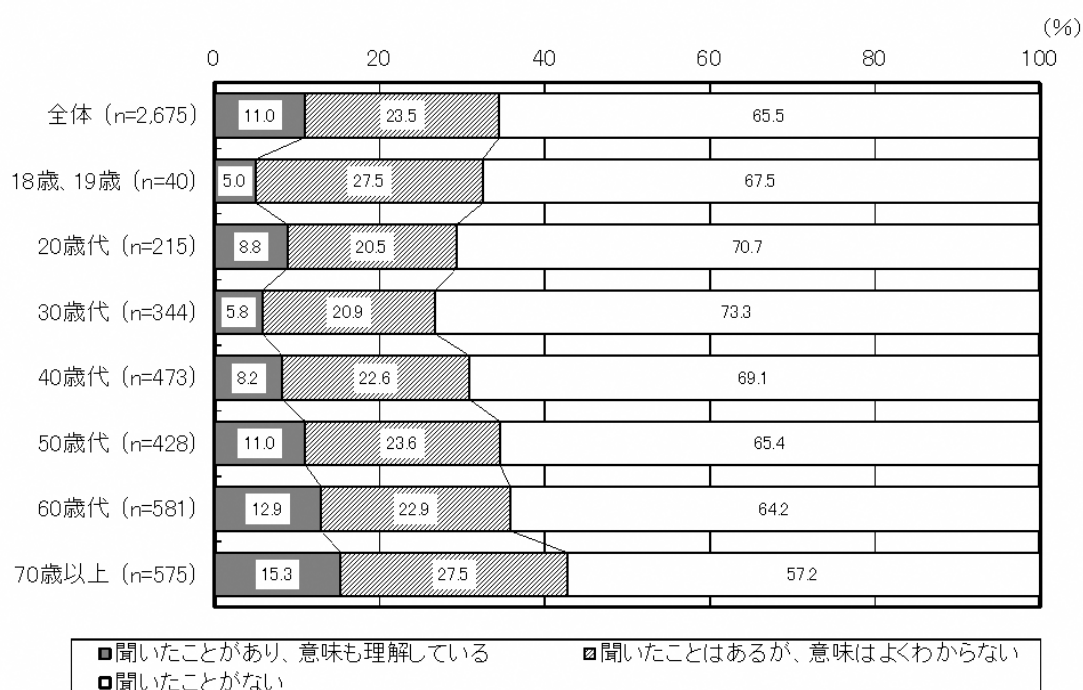
【問 14】 「市民協働」という言葉を聞いたことがありますか。（n=2,675）

（1）全体的傾向

「聞いたことがない」と回答した人の割合が約 66%で、「聞いたことがあり、意味も理解している」と「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」を合わせた「聞いたことがある」人の割合が約 35%となっている。

（2）年代別にみた特性

70 歳代以上で、「聞いたことがあり、意味も理解している」と「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」を合わせた「聞いたことがある」と回答した人の割合が約 43%となっており、他の年代と比べ高くなっている。



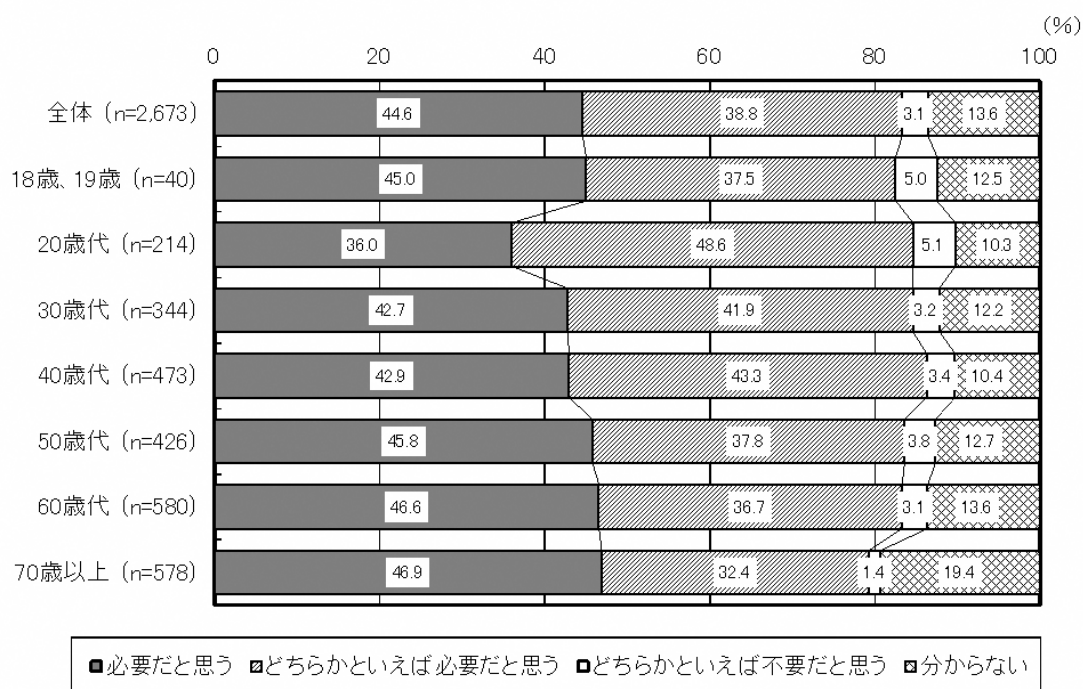
【問 15】 「市民協働によるまちづくり」は必要だと思いますか。(n=2, 673)

(1) 全体的傾向

「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた「必要だと思う」人の割合が約 83%で、「どちらかといえば不要だと思う」と回答した人の割合が約 3%、「分からない」と回答した人の割合が約 14%となっている。

(2) 年代別にみた特性

各年代とも、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた「必要だと思う」人の割合が約 79%～86%と高くなっている。



【問 16】あなたは、まちづくり活動（自治会などの地域活動、NPO活動、ボランティア活動等）に参加したことがありますか。（n=2,681）

（1）全体的傾向

「継続的に参加している」と「参加したことがある」を合わせた「参加したことがある」人の割合が約 49%で、「興味はあるが実際に参加したことはない」と「興味もないし、参加したこともない」を合わせた「参加したこともない」人の割合が約 51%となっている。

（2）年代別にみた特性

50歳代～60歳代で、「継続的に参加している」と「参加したことがある」を合わせた「参加したことがある」人の割合が約 57%となっており、他の年代と比べて高くなっている。

